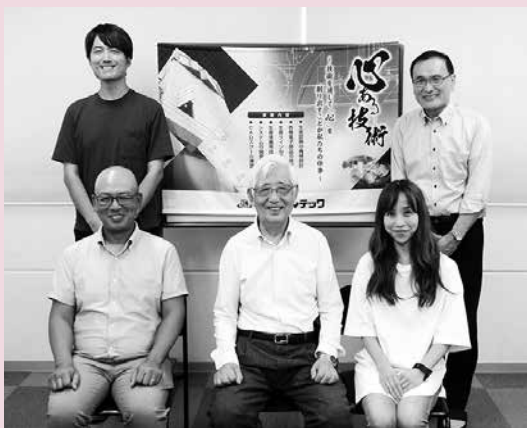


みんな元気活動で健康増進 インセンティブの活用で 社員への浸透を図る

株式会社ケイテック



写真前列左から古川さん、金子さん、後藤さん。
後列左が楠村さん、右が高畠さん。

愛知県名古屋市長区に本社のある株式会社ケイテックは、2021年7月に発表したSDGs宣言書に健康経営を盛り込み、全社的に取り組んできた結果、2023年には健康経営法人ブライツ500に認定されている。

そこで今回は、同社で健康経営を主導している取締役会長の金子一夫さん、技術指導員の高畠通典さん、業務推進室長の楠村貴之さん、生産設備開発室長の古川元雅さん、集計などの実務を担当している後藤志穂理さんにお話を伺った。

現会長が人間ドック入院時にSDGsに出会う 「健康経営」を柱の一つとして活動を開始

同社がSDGsに取り組み始めたきっかけは金子さんが社長だった2020年に人間ドックで入院したこと。入院中に読んだ新聞記事でSDGsという言葉に出会い、その考えに共鳴したのだ。

しかし、突然経営トップから「SDGsに取り組む!」と聞かされた社員たちは戸惑わなかったのだろうか? 労務管理全般を担当している楠村さんはこう振り返る。「『当社でもやるんだ、すごいな』と思ったほどで、いいタイミングだったと思います。全社的にも『やろう!』という機運になりました」。

その後、社内でさらに学びあい、具体的にどう取り組むのか検討を重ね、その結果が2021年のSDGs宣言へと結びつく。そのなかの柱の一つとして「健康経営」が明記された。

「実は、宣言書を作成する過程で取引のある名古屋銀行に教える機会があり、同行がホワイト500を取得していたので、当社の取り組みでも健康経営を一つの柱として据えようと考えました」と金子さん。その中心にあるのが「みんな元気活動」だ。

「社員に求める健康10項目」を提示 目標を明確にしてわかりやすく取り組む

みんな元気活動は、すべての社員が生涯健康で元気に過ごせることを目指して考案されたもので、2022年から毎年実施している。

具体的には表にある、社員に求める健康活動を10項目設定し、活動に応じたポイント制にして半年ごと(4月と10月)に達成状況を報告、その総合点に応じてギフトカードなどのインセンティブを与えるというもの。

この活動の特徴について高畠さんは「項目については固定化されておらず、年1回健康意識調査を実施してその結果を反映しています。社員がどんな項目を望んでいるのか? どういう傾向にあるのか? を読み取って少しずつ項目を変えているのです」。例えば表の【7】の健康セミナーの視聴では、今回は「健

康宣言を活用した職場の健康作り」というタイトルで健康セミナーを行い、セミナーに参加しないと0点、参加すると4点となるが、今回は別のタイトルを用意する。健康セミナーという項目は変化しなくてもそのときのタイムリーなテーマを選ぶことで社員の興味を引き、参加が増えるように工夫している。

そしてこれらのポイントはあくまで“自己申告”。アプリなどで自動でカウントするのではなく、社員自身がエクセルに入力してメールで返信してきたシートを集計するのが後藤さんだ。

「私は会長が作った集計表に、どんどん入力をしていだけ」と謙遜するが、こうして作成されたデータの蓄積は大切な経営資源でもあり、「社員の健康データを集計して管理することは重要な作業」と金子さんは信頼を寄せている。

社員同士がライバル！ ウォーキングアプリで会話が弾む

みんな元気活動の項目のなかでも、特に2024年度から力を入れている取組みの一つに表の【9】の禁煙達成がある。この活動の推進役は古川さんだ。「昨年2月の段階で社内の喫煙者率は21%でした。この数値を減らしていく新たな活動を10月から始めたところです。最終目標は2026年下半期までに6%と厳しめの設定ですが、これを目指してさまざまな取組みをしていきます」。喫煙者を減らすための一つの大きな目玉は2万円の卒煙祝い金だ。このほか、会社から禁煙外来を紹介し、その治療費として補助金を半期ごとに最大1万円支給して受診を促す、嫌煙飴や禁煙パッチなどの支給によるきっかけ作り、などを行っている。禁煙に関しては本人の納得が重要となってくるため、「卒煙した社員の体験談を掘り起こして、どういった形で卒煙できたかななどを参考に展開していきたいですね」。

また、日常的に運動ができるように表の【5】ウォーキングがあるが、こちらは「あいち健康プラス」というアプリを活用している。社員が登録すれば自動的に歩数が計測される仕組みで、現在94人中76人が登録している。アプリ上ではニックネームで表示されるので個人名は出ないが社員同士は誰が誰かわかっていて、お互いに順位を競っていることも多い。共通の話題としてウォーキングがあることで社内コミュニケーションの向上にもつながっている。

このように同社ではギフトカードや見舞金など社員へのインセンティブをモチベーションアップにつなげてきたが、これは会長である金子さんの役割であり、現社長の金子倫司さんと

表.2024年の「みんな元気活動」実施項目

| 健康活動項目表 | | | |
|--|----------------|------|----|
| 実施項目 | 自己評価 (ポイント) | ポイント | 評価 |
| 【1】 職場では明るく前向きに仕事ができている | そう思う | 4 | |
| | そう思わない | 0 | |
| 【2】 スポーツ施設の利用 (会社の支援を受け、ジム・フィットネスクラブ含む) | 半年で40日以上 | 6 | |
| | 半年で20日以上 | 3 | |
| | 半年で20日未満 | 0 | |
| 【3】 朝、昼、晩の食事摂取 | 毎日3食 | 4 | |
| | ほぼ3食 | 2 | |
| | ほぼ2食 | 0 | |
| 【4】 毎日の平均睡眠時間 | ほぼ7時間以上 | 6 | |
| | 平均7~6時間 | 3 | |
| | 平均6時間以下 | 0 | |
| 【5】 ウォーキング (一日の平均歩数) | 1万歩以上 | 6 | |
| | 1万~3千歩 | 3 | |
| | 3千歩以下 | 0 | |
| 【6】 半年の有給休暇取得日数 <small>※有休付与のない者は4点</small> | 4日以上 | 4 | |
| | 3~2日 | 2 | |
| | 1~0日 | 0 | |
| 【7】 健康セミナーの視聴 <small>テーマ:「健康宣言を活用した職場の健康作り」</small> | 視聴した | 4 | |
| | していない | 0 | |
| 【8】 適正体重 (期間内平均) | BMI=18.5~25 | 4 | |
| | ↑上記数値範囲外 | 0 | |
| 【9】 禁煙達成 (期間内基本的に) | 禁煙or 達成 | 6 | |
| | 禁煙できていない | 0 | |
| 【10】 3分間フィットネス体操 (厚生労働省) <small>※毎日3分のできる転びにくい体をつくる職場エクササイズ</small> | 1週間で4日以上 | 6 | |
| | 1週間で3日以上 | 3 | |
| | 1週間で3日未満 | 0 | |
| 合計 | | XX | |

は役割が明確に分けられているという。「私はSDGs関係、健康経営なども含めて5年後10年後の理想を目指した活動を行い、社長は本業の業績向上に専心する、という二面から会社を支えます。もう一つの側面からは、健康経営で社員にインセンティブを与えることも将来のために必要な投資だと考えています。これからも定められた予算のなかではありますが、当社だけでなく社会にも貢献できるよう何ができるのかを考えながら投資を続けていきたい」と金子さんは取組みをさらに進化させる決意だ。

*あいち健康プラス：愛知県が2020年4月から配信しているスマートフォンアプリ。県内に本社または事業所を置く企業・団体が利用できる。従業員の取組状況を確認し、企業内での健康課題の把握と今後の方針作りに活用できる。

会社概要

株式会社ケイテック

事業内容：自動車関連部品の設計・開発、生産設備／専用機の設計・開発、次世代通信システムの設計・開発、福祉機器開発、CADスクール・プログラミングスクールの運営、その他

設立：1970年

従業員：94名(2024年9月現在)

所在地：愛知県名古屋市区